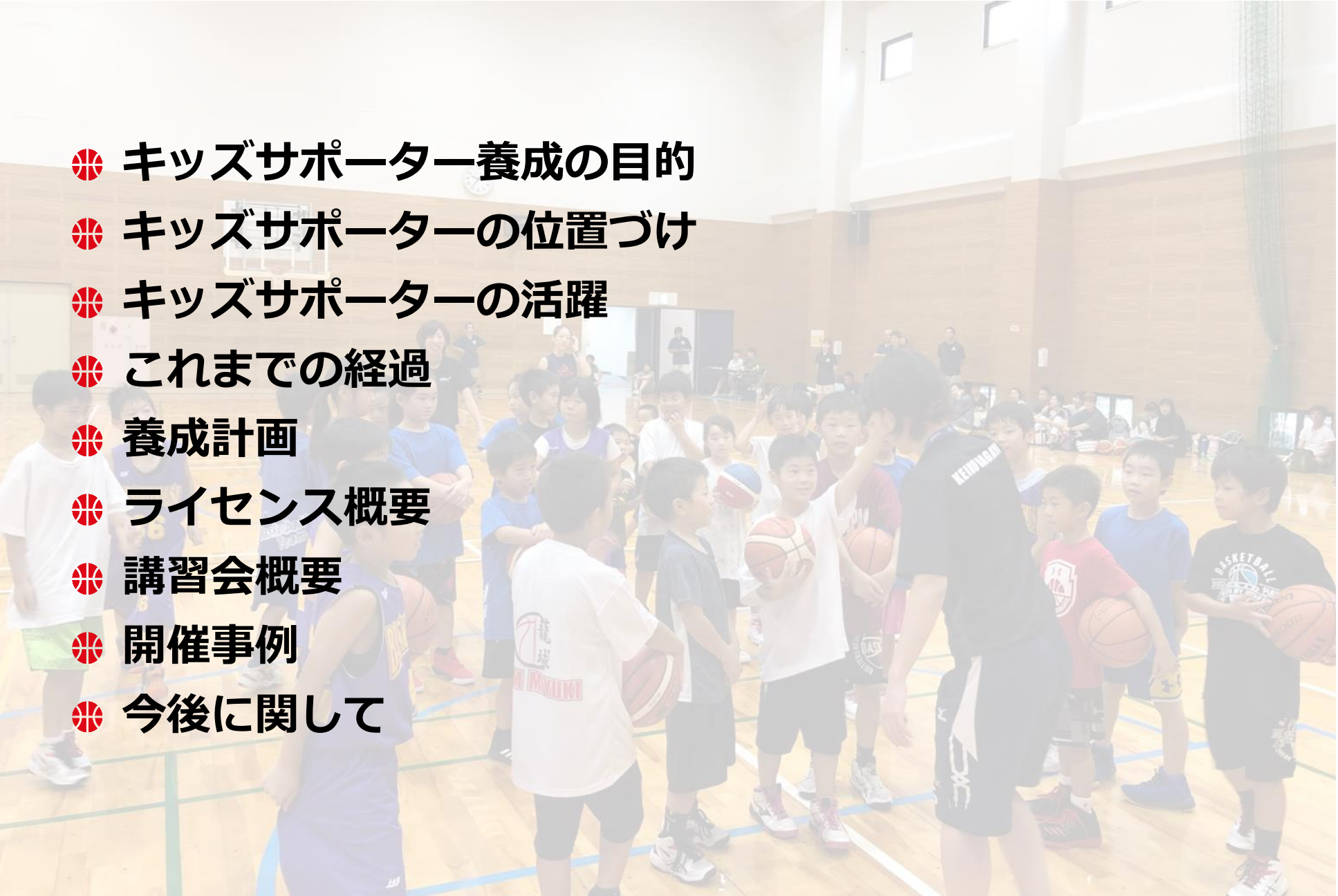


- 
- キッズサポーター養成の目的
 - キッズサポーターの位置づけ
 - キッズサポーターの活躍
 - これまでの経過
 - 養成計画
 - ライセンス概要
 - 講習会概要
 - 開催事例
 - 今後に関して

子どもたちが体を動かすことの楽しさを
味わうことができる世界を作る

そのための方法として以下の事業を展開

キッズサポーター リーダー講習会

キッズサポーターを養成
する講師（キッズサポ
ーターリーダー）の養成

●実施主体
JBA

キッズサポーター 講習会

子どもたちに体を動かす
楽しさを届けることがで
きるキッズサポーターの
養成

●実施主体
PBA

キッズ対象活動

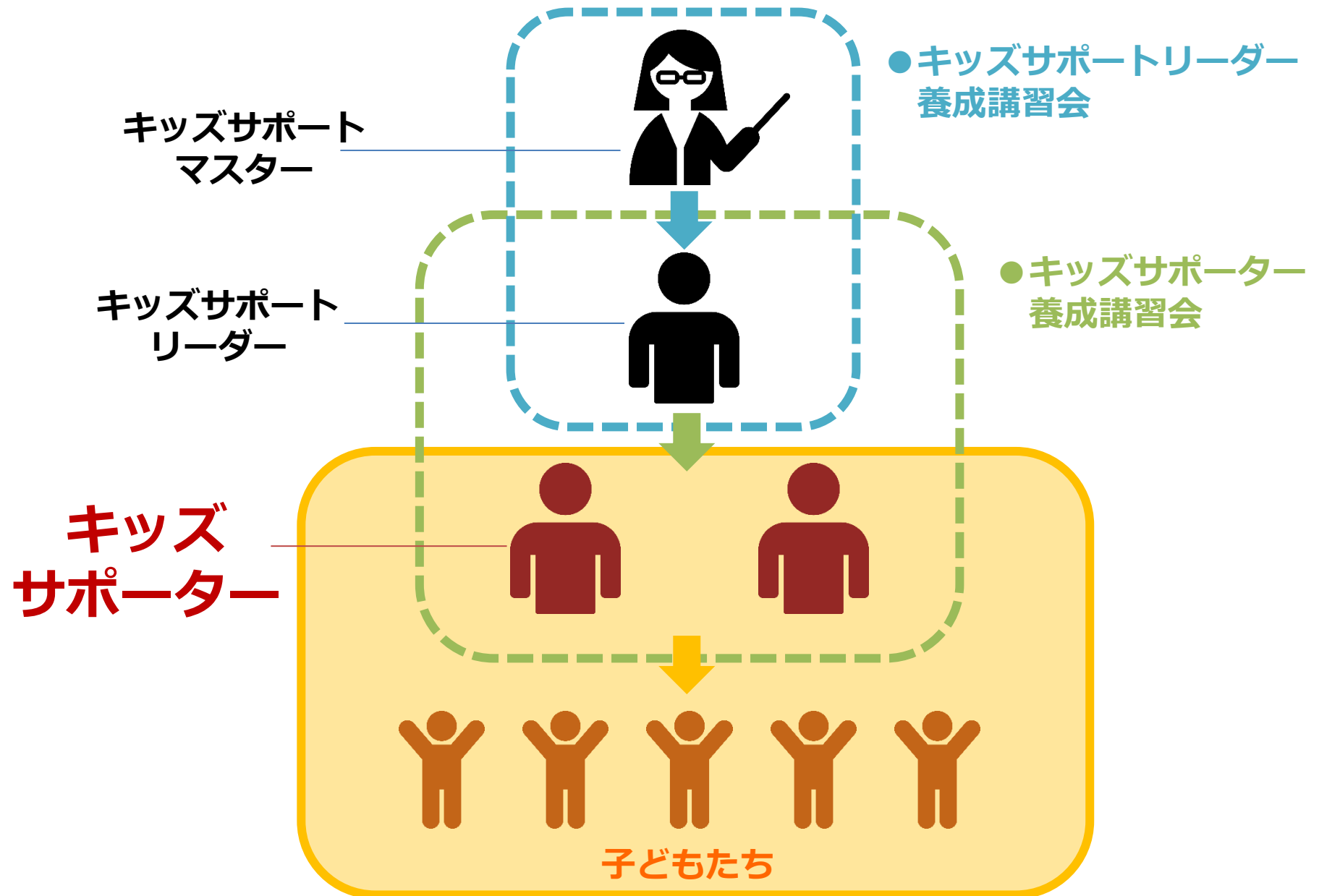
子どもたちが体を動かす
ことの楽しさを味わうこ
とのできる機会の創出

●実施主体
キッズサポーター
JBA・PBA



スポーツの魅力（楽しさ）を感じ、
スポーツを長く続けることができる
ようになるためのきっかけを作る





キッズサポーターがキッズを対象とする様々な場面で活躍することにより、登録者の拡大につながる

登録者の
拡大

キッズフェスティバル

ミニバス体験会

バスケットボールを長く楽しむ子どもたちが増える

幼稚園訪問

小学校訪問

チーム
(アンダーカテゴリー)

きっかけを
つくる

楽しさを
伝える

広げる

ファンを
増やす

継続させる

2019年度	・コーチライセンス制度改定により、新たに「キッズインストラクターライセンス」を新設 ・全国展開するための準備段階としてモデルケースの開催を計画、実施 2019年9月@熊本 キッズインストラクター養成講習会 キッズ対象イベント 2019年11月@神奈川 キッズインストラクター養成講習会 2020年1月@東京 キッズインストラクター養成講習会 2020年3月@茨城 キッズインストラクター養成講習会→コロナ影響で中止 キッズ向けイベント→コロナ影響で中止
2020年度	・モデルケース実績を踏まえて内容等の見直しを実施 (名称は「キッズインストラクター」→「キッズサポーター」に改称) ・コロナ影響により2020年度の開催は見送り
2021年度	・2021年度後期からの事業実施に向け準備を再開
2022年度	・2022年5月@北海道 (モデル講習) ・2022年11月@福岡 ・2022年12月@福島

2022年度	キッズサポーター講習会の開催	JBA主催：1回（予定） PBA主催：1回（北海道予定）
	キッズサポートリーダー講習会の開催 （キッズサポーター講習会同時開催）	JBA主催：2回
2023年度	キッズサポーター講習会の開催	JBA主催：回数未定 PBA主催：各PBA1回以上（予定）
	キッズサポートリーダー講習会の開催 （キッズサポーター講習会同時開催）	JBA主催：3回

	キッズサポーター	キッズサポートリーダー
役割	子どもたちに体を動かすことの楽しさを伝える	キッズサポーター講習会の講師を務める
求められる能力	・子どもたちの発育・発達を理解し、それに基づいたプログラムをつくることができる。 ・子どもたちを夢中にさせる環境づくりについて理解し、それを実践することができる。 ・楽しみながらボール運動を経験させる方法を理解し、それを実践することができる。	・キッズサポーター講習会の内容を理解し、講習会を展開することができる。 ・プレゼンテーションができる。 ・ファシリテーションができる。
認定要件	・キッズサポーター養成講習会の全講習に参加していること ・講習後に実施するアンケートに回答すること	・キッズサポートリーダー養成講習会の全講習に参加していること ・講習受講後の確認テストに合格すること
講習会 受講条件	受講年度の4月1日現在満16歳以上であること	・受講年度の4月1日現在満20歳以上であること ・C級以上のコーチライセンスを取得していること ・キッズの指導経験が5年以上あること（ミニバス、スポーツクラブ、専門学校 など） ・理念に共感できること（子どもたちを楽しませること、運動することやバスケットボールの入り口を担うという責任） ・都道府県協会の推薦があること ・キッズサポーター講習会の開催に協力できること ・過去に懲罰歴がないこと
講習実施方法	集合講習半日程度、事後アンケート	事前課題、集合講習2日間、事後課題、確認テスト
講習会定員	40人程度	10～15人程度
講習会受講料	2,200円（税込）	13,200円（税込）
有効期間	受講年度含めて5年間	取得年度を含めて3年間
更新条件	不要（再取得時は再受講）	所定の更新講習を受けること
備考		幼児教育を学んだ経験がある者が望ましい。

講習会実施例

（計4.5時間）

12 : 30～12 : 55	受付	
13 : 00～13 : 10	オリエンテーション	
13 : 10～14 : 40	子どもたちの「楽しい！また来たい！」を生み出す環境作り	講義
14 : 40～14 : 50	休憩	
14 : 50～15 : 50	子どもたちを惹きつけるファンドリル	実技あり講義
15 : 50～16 : 00	休憩	
16 : 00～17 : 00	ファンドリル実践・1on1やゲームへの展開	実技あり講義
17 : 00～17 : 30	質疑応答・諸連絡	



※キッズサポーター講習会同時開催の例

●Day1

10 : 30～10 : 55	受付	
11 : 00～12 : 30	オリエンテーション ・キッズサポーター、キッズサポーターリーダーの果たすべき役割	講義
12 : 30～13 : 30	昼休憩	キッズサポーター講習会
13 : 30～15 : 00	キッズサポーター講習会開会 オリエンテーション ・キッズサポーターとは ・幼児期・小学低学年期の特徴 集合が苦手な子などの対応 ・子どもたちの「楽しい！また来たい！」を生み出す環境作り	講義
15 : 00～15 : 10	休憩	
15 : 10～16 : 10	・子どもたちを惹きつけるファンドリル①	実技あり講義
16 : 10～16 : 20	休憩	
16 : 20～17 : 20	・子どもたちを惹きつけるファンドリル②	実技あり講義
17 : 20～17 : 40	質疑応答 キッズサポーター講習会閉会	
17 : 40～17 : 50	休憩	
17 : 50～18 : 50	・サポーター講習振り返り ・講習の時間配分や注意事項 ・2日目のファンドリル講習実践の説明	講義
18 : 50	解散	

※キッズサポーター講習会同時開催の例

●Day2

9 : 00～9 : 15	受付	
9 : 20～10 : 20	グループワークのマネジメント ・グループワークの注意事項 ・「キッズサポーターの受講生を増やすためにできることを考える」	講義
10 : 20～10 : 30	休憩	
10 : 30～12 : 10	ファンドリル講習実践① （100分=受講生20名の内、前半10名を想定） 内容：ファンドリル2種目・・・座学の内容をこちらから指定して一つ （例：注目を集めるポイント） ＊15分実践→5分個別振り返り ＊2ヶ所で実施	実技
12 : 10～13 : 10	昼休憩	
13 : 10～14 : 50	ファンドリル講習実践② （100分=受講生20名の内、後半10名を想定） 内容：ファンドリル2種目・・・座学の内容をこちらから指定して一つ （例：注目を集めるポイント） ＊15分実践→5分個別振り返り ＊2ヶ所で実施	実技
14 : 50～15 : 00	休憩	
15 : 00～16 : 00	・講習の振り返り ・事後課題の説明 ・一人一言	講義
16 : 00	解散	

	キッズサポーター	キッズサポートリーダー
日程	2022年5月15日（土）	2022年5月14日（土）、15日（日）
参加者数	57名（リーダー同時受講の20名を含む）	20名
講師	加賀屋圭子、諸橋幸恵	

❁ 開催趣旨

- キッズサポートリーダーの養成を進めていくため、北海道にてキッズサポートリーダー養成講習会をモデル開催
- キッズサポートリーダー講習会には、北海道協会のU12部会関係者の他、道内14地区からU12担当者等が参加

❁ 開催後の検討

- 今後の活動予定
 - ↳ 2023年1月28日（土）キッズサポーター養成講習会開催
 - ↳ 2023年1月29日（日）キッズ向けイベント開催
- 講師は5月のキッズサポートリーダー養成講習会の受講修了者が担当
- JBAで講習会の運営マニュアルなどを準備
- キッズ向けイベントでは、メインの講師はキッズサポートリーダー養成講習会講師が担当するものの、キッズサポーター養成講習会参加者からも任意で参加していただき、キッズ向け指導の実践の場とする
- 翌年度以降、北海道内での各ブロック（4ブロック）などでもキッズサポーター養成講習会の開催を行えるようにU12部会を中心に今後検討

	キッズサポーター	キッズサポートリーダー
日程	2022年11月5日（土）	2022年11月5日（土）、6日（日）
参加者数	48名（リーダー同時受講の14名を含む）	14名
講師	加賀屋圭子、諸橋幸恵	

🌀 受講者アンケートより

＜キッズサポートリーダー＞

- 今回いろんな立場の方が参加され、グループワークなどでとても刺激になりました。普段はミニバスを担当していてキッズサポートに一番近い距離感かなと思って参加しましたが、教育関係者の方も多く参加され、『みんながバスケで日本を元気に！』と思っているのを実感した2日間でした。
- 講習会を担当するにあたり、ひとりでは厳しいと部分もあるが、段取りなどを含めて、必要な準備の理解をする事が出来たので、イメージが持てました。
- バスケットボールの普及につながる非常に重要な講習会だと感じました。

＜キッズサポーター＞

- どんな子供も練習する理由は楽しいからだと再確認した。その楽しみ方や楽しめるかどうかは指導する側の配慮とそれに対する知識が必要だと感じた。
- バスケットボールの指導者だけでなく、子どもがミニバスをされている保護者の方やバスケットボール未経験者の方が受講されている事に驚いた。また子どもの成長について（発達障害の知識なども含む）や特性を知っておくことも必要と感じた。
- 『楽しい』と思わせるには、道具の工夫（カラフルなもの、フラフープ、ソフトなボールなど）も大切だと気づいた。



	キッズサポーター	キッズサポートリーダー
日程	2022年12月3日（土）	2022年12月3日（土）、4日（日）
参加者数	44名（リーダー同時受講の17名を含む）	17名
講師	加賀屋圭子、中田和秀	

🌀 受講者アンケートより

＜キッズサポートリーダー＞

- キッズサポーターの講習がセットだったので、イメージしやすかった。実際に自分で開催をしてみて、どの様な受講生が集まるのか、準備に漏れはないか、トラブルは発生しないか、などを経験していくことが大切と感じる。
- 私はコーチデベロッパーをしているため、それに近いかなと思いました。来年度、養成講習会をタイムスケジュール通りにファシリテートできるか不安はあります。まずは一度養成講習会を担当して、客観的に分析したいです。
- バasketをやる子たちの入り口として重要な役割であるのだと再認識した。参加して嬉しかったことは、同じ志を持った方々に出会えて楽しかったこと。仲間たちとツナガリを持ち情報共有や意見交換をしながら活動していきます。

＜キッズサポーター＞

- 子どもの意識の引きつけ方ややる気の引き出し方について、少しのポイントを意識するだけで成果が大きく変わるんだということを学びました。
- 言葉がけの工夫で関心を持ってもらえたり注目を集めることが出来る一方、やる気を無くさせてしまったりネガティブに捉えられてしまう可能性があることに気付かされた（子どもならではの特徴）。
- ファンドリルを色々試してみたい。自分自身で活動を広げていける様に楽しみながら経験を積んでいきたい。



2022年度受講者数一覧

都道府県名	キッズサポーター	キッズサポートリーダー
北海道	57	20
青森県	3	1
岩手県	2	1
宮城県	6	1
秋田県	1	1
山形県	1	
福島県	11	1
茨城県	2	
栃木県		
群馬県	2	2
埼玉県	3	1
千葉県	2	1
東京都	2	2
神奈川県	2	1
山梨県		
長野県	4	3
新潟県		
富山県		
石川県	3	3
福井県		
岐阜県	2	1
静岡県	1	1
愛知県		
三重県		

都道府県名	キッズサポーター	キッズサポートリーダー
滋賀県	1	1
京都府	1	1
大阪府	1	
兵庫県	2	1
奈良県	1	1
和歌山県		
鳥取県	1	1
島根県	2	
岡山県	1	
広島県	2	1
山口県	2	
徳島県	2	1
香川県	1	
愛媛県		
高知県		
福岡県	17	2
佐賀県	2	
長崎県	2	
熊本県	2	1
大分県	3	
宮崎県		
鹿児島県	1	1
沖縄県	1	

* 合計

キッズサポーター：149名、キッズサポートリーダー：51名

❁ 2023年度に向けたご依頼事項

- 2023年度キッズサポートリーダー養成講習会の受講者について、2022年度同様に各PBAからご推薦をお願いします。特に2022年度に推薦をあげられなかったPBAについてはお早目に人選のご検討をお願いいたします。

※推薦依頼は2023年2月頃を予定

※2023年度開催予定（年間3回、開催地域・会場未定）

①5月13日～14日 ②11月11日～12日 ③12月2日～3日

* 予定は変更となる場合がございます。

- 2023年度に各PBA主催でキッズサポーター養成講習会が1回開催できるよう、計画と実施にご協力ください。

※2022年度にキッズサポートリーダーを取得された方と開催に向け具体的な検討を進めていただければと思います。

- 併せて2023年度のキッズ関連事業、またそれ以降の中期的な計画についてもお検討をお願いします。

❁ 備考

- 運営補助を目的とした『開催・運営マニュアル』を展開しますのでぜひご活用ください。
- 「キッズサポートリーダー」はC級、D級コーチ養成講習会を担当するコーチデベロッパーと同様の役割（位置づけ）となるため、コーチデベロッパー講習会と同様、受講料は本人負担、講習会参加にかかる旅費はJBA負担とします。